

平成30年度 麻華保育園 施設の自己評価

年度末に行った保護者アンケートや職員アンケートをもとに、施設の評価を行いました。

平成31年度からは、幼保連携型認定こども園へ移行します。これまで以上に未来ある子どもにとって、よりよい保育を目指し取り組んでいきたいと思ひます。また、子どもの成長を保護者の方と共有できるように努めたいです。

《園の方針や理念の理解について》

回答された全員が御理解していただいたようで、大変嬉しく思ひます。

今後もおたよりや毎日の連絡を通して、園の教育方針をお知らせしたり、子どもの様子を具体的に分かりやすく知らせたり、発達にあった子どもへの関わり方や育児の方法を伝えるなどして、保護者の皆様に園の方針や理念を具体的な場面を通して御理解いただけるように努めていきたいと思ひています。

《保育環境について》

保護者全員の方に満足いく評価を受けております。今後も、子どもの発達や興味関心に見合った玩具を選び、環境構成に心がけていきたいと思ひます。なお、夏の時期には熱中症対策のため室内で過ごすことが多くありました。来年度以降も猛暑が続くことを考え、室内での教室環境について「子どもが主体的に遊べる環境」にできるように、職員間で話し合っていきたいと思ひております。

衛生面については評価が低く残念でありますがこのことを真摯に受け止め、各分担場所を責任もって掃除できるように、職員全員に意識を高めていきたいと思ひます。

《行事について》

運動会のマーチングや組体操、生活発表会の舞踊劇やミュージカル等、どの行事についても高い評価を受けているので、長年続いた園での取り組みを大切にしていきたいと思ひます。

一方で、保護者の皆様から行事の時の観覧席が混雑する、小学生へのマナーの徹底、ビデオ撮り時のマナー、駐車場のマナー等々のご意見をいただきます。全員の保護者の方が気持ちよく過ごせるように、お便りやメール配信等などを活用して注意喚起を促すようにしていきます。

また、職員間においては、引継ぎ業務を徹底できるように努めていきたい。

以上のことを職員で評価し、次年度に生かして質の高い保育を目指していきたい。